

# 音読指導一覧表

## ペア音読

	種類	方法	ねらい・特徴
1	一文交代読み	ジャンケンで先に読む方を決める（勝った方から読むなど）、一文交代で読む。2回目は交代して行う。	指示された回数を読んだペアは座り、個人音読を指示する。
2	リレー読み	ジャンケンで先に読む方を決める（勝った方から読むなど）、何秒かおきに教師が「change」と言うと、読んでいる途中で交代する。	どこでボタンタッチしたらいいのかわかろうとするので、集中する。変わるタイミングに変化を持たせると、より集中する。
3	役割読み	会話文に適している。2回目は役割を交代する。3回目はいっしょに読む。	全員起立で合計3回やったら座りなさいと指示すると、集中する。座ったら個人音読を加えてもよい。
4	先生生徒役割読み	ジャンケンで勝った方が先生になり、音読する。負けた方はリピートする。チャンク読みや Look Up Reading などができる。	ジャンケンに勝った生徒は先生になった気持ちで、相手によくわかるように音読できる。
5	英訳（翻訳）読み	一人が英文を読み、もう一人がその英文を日本語にする。または、一人が日本語を言って、もう一人が英文にする。	最初はスラッシュで区切った意味のまとめりごとに言わせるとつまずきが少なくできる。無作為に文を言うとな難易度が上がる。
6	制限時間読み	制限時間を設定し、時間内にペアで交互に一文ずつ読ませる。制限時間をだんだん短くしていき、難易度を上げる。	ペアで教え合い、十分練習をしてから行う。
7	パートナーチェインジ読み	音読を終えるとペアになった2列の片方のみが移動し、一回ずつペアを変えていく。	Snake 方式とも言われる。ペアが次々と交代するので、教室に活気が出る。
8	ペア探し読み	1回読む毎に相手ペアを探して回る。読み終わったらペアのサインをもらって、次の時間は読んだことのない人とペアを組む。	できるだけ多くの人と活動することにより、幅広くペア読みができる。
9	状況設定読み	会話の状況を設定して読む。場所や発話者の年齢や関係を変えることによって読み方を変えていく。	同じ文でも、状況によって読み方が変わることを理解させる。相手に伝わるような感情豊かなスピーキングにつながる。
10	背中合わせ読み	起立してペアが背中あわせになって交互に読む。	小さな声で音読すると相手に聞こえず交代のタイミングがわからないので、声が大きくなる。
11	Chase Reading	ペアの一人が最初の1文を読み終わったら、もう一人が始める。	追い越されないようにと、集中できる。
12	Reproductive Reading	単語や英文をいくつかブランクにしたワークシートを渡し、ペアで交代で読む。ブランクに日本語のヒントを与えてもよい。	単語 句 文と、スモールステップで練習できるようにワークシートを工夫する。